

「リサイクルステーション 浜松市西部清掃工場 えこはま」 開催報告

整理番号:20170910

イベント名	家庭ごみ「分ければ資源」古紙分別回収隊
-------	---------------------

実施内容	
活動日時	平成29年9月10日(日) 9:00~12:00 晴
活動場所	浜松市西部清掃工場 (浜松市西区篠原町26098-1)
活動者	5名
詳細	リユース市「もったいない市」との同時開催です。 回収品目は、新聞・折込チラシ、本・雑誌・雑がみ、段ボールの回収と「正しい古紙の出し方」や古紙のリサイクルを啓発。 啓発用配布物:開催案内チラシ、雑がみ回収袋、雑がみ啓発うちわ

事業の様子 と成果	来場者数:792名、利用者:65名 回収量:190kg 詳細:新聞 85kg(45%)、本・雑誌 25kg(13%)、雑がみ 40kg(21%)、段ボール 40kg(21%)
	回収総量 6月比 60kg減。新聞と段ボールの持込量が減っていました。 また、もったいない市への本の持込が少なかったことも回収量減になった理由と考えられます。 参加スタッフの皆様には、定着しました。
	今回は、雑がみ啓発用マグネット「家康くんマグネット」を74個配布。 A4サイズの雑がみ回収袋 45袋と過去3回の中で一番多く配布出来ました。
	もったいない市利用の市民からは、資源回収に関する問合せがありました。 多くの市民が参加するイベントでは、資源回収の活動は、啓発事業として効果がある事が分かります。
	Q:ブリタニカ百科事典の処理 A:表装が紙でない場合は、分別が必要です。同会場に持参していただければ、分別のお手伝いは、行います。但し、分別後に出た回収できないものは、持帰りをお願いします。

改善	継続した市民の利用が見られません。また、資源回収のみを目的に来場する人が少ない。 来年度以降は「もったいない市」のチラシに掲載することで利用者・回収量の増加を見込めると思われます。
----	---

記録添付

